

会場／オンライン  
開催

# 広島大学病院 がん医療従事者研修会

広島大学病院では、がん診療の質の向上及び専門的な知識の普及を目的とし、がん医療に携わる医師・薬剤師・看護師等を対象とした研修を以下のとおり開催いたします。

講演1 (座長) 広島大学病院 がん治療センター 准教授 岡本 渉 先生

## 「消化器がん診療におけるリキッドバイオプシーの有用性」

国立がん研究センター東病院

トランスレーショナルリサーチ支援室／消化管内科

中村能章先生

中村能章先生は、平成21年卒の若手医師ながら、リキッドバイオプシーによる全国ゲノムスクリーニングプロジェクト：GOZILA試験の実務担当者として活躍され、本プロジェクトの成果を示した論文がNature Medicineにacceptされました。また、リキッドバイオプシー結果に基づく医師主導治験を多数実施され、その成果を基に薬事承認申請に向けた動きも進められております。さらに、大腸癌治療経過に伴うがんゲノムの変化から癌細胞クローン変化を捉える研究(AMED革新がん若手)でも成果を出されています。最近では、術後再発早期発見におけるリキッドバイオプシー(ゲノム/エピゲノム)の有用性を検討するCOSMOS試験を立ち上げられました。臨床現場から生まれる疑問や課題に直結した研究を多数実施されており、リキッドバイオプシーの有用性と可能性を分かりやすくお話頂けることと思います。

講演2 (座長) 広島大学病院 がん化学療法科 教授 杉山 一彦 先生

## 「医師に求められる主治医力、患者に求められる患者力、そして両者をつなぐ医療学」

福島県立医科大学 白河総合診療アカデミー准教授

白河厚生総合病院 総合診療科部長

東光久先生

東光久先生は、総合診療を軸とされながらリウマチ・膠原病診療とがん診療のプロフェッショナルとしても著名な先生で、マルチな御活躍をされています。サイエンスとしての「医学」とアートとしての「ケア・癒し」をつなぐ『医療学』の重要性を提唱され、医を軸に『人と人をつなぎ、またつながること』の大切さを説いておられます。また、東先生の下には医を極めたいという志をもった研修医が多数集まっており、講演1：中村先生の最初の指導医でもいらっしゃいます。東先生には毎年熱い御講演をして頂いておりますが、本年も御講義頂けることとなりました。さらに今回は、初の師弟対決(?)ということで、より熱のこもったお話を頂けることと思います。

開催日時 ▶ 2021年1月22日(金)18:30~20:00(予定)

開催場所 ▶ 広島大学病院 (〒734-8551 広島市南区霞一丁目2番3号)  
臨床管理棟3階 大会議室 および Zoom

会場定員 ▶ 30名(ご参加の際は、マスクの着用をお願いいたします。)

【申込方法】 以下のいずれかの方法でお申し込みください ※申込締切→1月15日(金)17:00 要申込



①QRコード  
申込フォームに入力し  
送信してください

②メール  
本文に氏名・フリガナ・所属施設・  
職名・参加方法をご記載の上、  
下記アドレスに送信してください  
[byo-renkei@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:byo-renkei@office.hiroshima-u.ac.jp)

お問い合わせ先：広島大学病院 医療支援グループ TEL 082-257-5934

(主催) 広島大学病院 (都道府県がん診療連携拠点病院) / 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム  
広島大学がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)養成プラン